Public Relations Kyotanabe City
9月1日
平成26年（2014年）No.750
広報 京たなべ
発行／京田辺市 〒610-0393 京都府京田辺市田辺80 ☎（0774）63-1122 FAX（0774）63-4781 HP http://www.kyotanabe.jp/

■主な内容

P2 早期発見で助かる命
P3 フィットネスで楽しく介護予防を
P4 京たなべ休バル
P4 体にやさしい減塩みそづくり

水分を瞬間的に固め、1回使うごとに燃やすごみとして処分できる簡易トイレを設置。

最低限のプライバシーを守る間仕切り。工具なしで簡単に組み立てられます。

居住スペースが整ったら夕食。節水のため、食器はラップで覆って使います。

避難所生活を一泊体験

力を合わせ「共助」を学ぶ

午後10時30分、床に段ボールなどを敷いて就寝。

8月8・9日、大地震を想定した避難所一泊体験を田辺東小学校で行いました。

地域住民や災害ボランティア・関係機関の職員など約60人が参加。避難所の設営作業を体験し、災害時に想定される事態への対応方法など、地域の力で助け合う「共助」を学びました。

親子で参加した矢野里志さん（41）は、「こういう体験は自分の住む地域でできるのが一番。他の地域にも広げていってほしいです」と話し、息子の空祈くん（9）も「いざという時に役に立ちそう」と、貴重な体験に充実した表情でした。

大丈夫？我が家の防災対策

8月9日、気象庁・京都府からの土砂災害警戒情報の発表に伴い、市は避難勧告を発令し、多くの人が避難しました。

市は非常食・医薬品などを備蓄していますが、十分な量ではありません。本格的な台風シーズンを前に、各家庭での「備え」を見直してみましょう。

非常持出品チェックリスト
1人1セット用意し、避難所へ持参しましょう

□ 非常食	□ 健康保険証
□ 飲料水	□ ろうそく
□ 携帯ラジオ(予備の電池)	□ ライター(マッチ)
□ 懐中電灯(予備の電池・電球)	□ ナイフ・缶切り・栓抜き
□ ヘルメット・防災ずきん	□ ティッシュ
□ 救急医薬品	□ タオル
□ 常備薬	□ ビニール袋
□ 貴重品(預貯金通帳・印鑑など)	□ 着替え
□ 現金	□ 軍手

風水害に備えよう

【家の周囲をチェック】
▼屋根瓦の割れ・ずれなどはないか
▼側溝・雨どいが、土砂や落ち葉で詰まっていないか

【家族で防災会議】
▼家族の役割分担を決めておこう
▼避難所・避難経路を確認しよう
▼連絡方法を決めておこう
▼災害用伝言ダイヤル「171」の使い方を確認しよう

【避難するときは】
▼非常持出品（＝右表）を忘れずに
▼ヘルメットなどで頭を保護し、ひもで締められる運動靴を履こう
▼近所の人に声を掛け、できるだけ集団で避難しよう
▼外に出るのが危険なときは、家の2階以上へ「垂直避難」を

【問合せ先】
安心まちづくり室（☎64・1307）

木造住宅を地震に強く

耐震化フォーラム 専門家の無料相談も

市と特定非営利活動法人「人・家・街 安全支援機構」は、木造住宅の耐震化を推進する市民フォーラムと専門家による個別相談会を開きます。

会場では、耐震診断の申し込みもできます。希望者は、印鑑と昭和56年5月31日以前に着工した木造住宅であることがわかる書類（住宅の建築確認通知書など）を持参してください。

【日にち】
9月28日(日)

【場所】
中部住民センター

【講演】
時間＝午前10時～11時20分
テーマ＝▼京田辺市で予想される大地震と、木造住宅の耐震診断・具体的な補強方法について▼耐震化に関する助成制度について

【個別相談】
時間＝午前11時20分～正午
費用＝無料
申込方法＝電話かFAXで、住所・氏名・電話番号・参加人数を人・家・街 安全支援機構に連絡してください

【問合せ先】
▼人・家・街 安全支援機構（☎0120・263・150、FAX06・6456・1073）▼開発指導課（☎64・1341）